免震構造建築用 EXジョイント MX

施工・取扱説明書

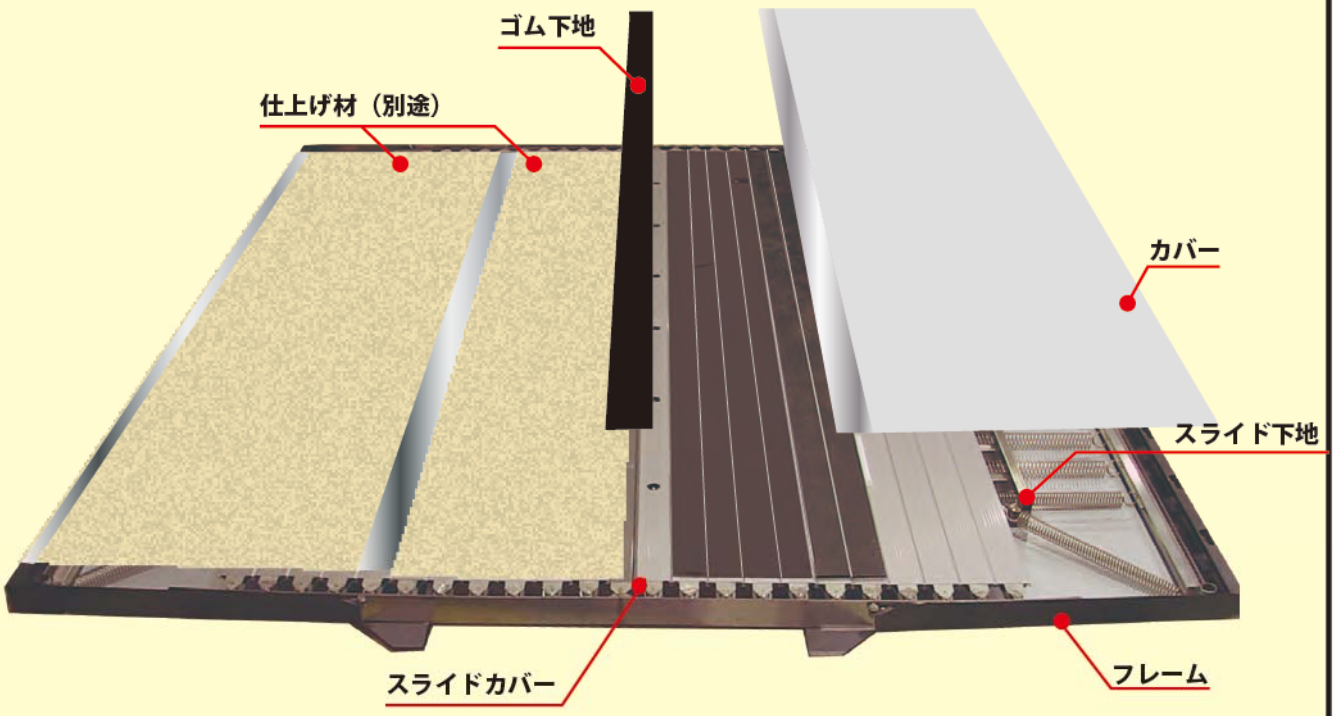
屋内床用免震エキスパンションジョイント MX66TRF

施工およびご使用される前に必ず最後までお読みください。

この度は、弊社免震エキスパンションジョイントをご使用いただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの「施工・取扱説明書」をご一読いただきますようお願いいたします。
間違った施工・取扱を行いますと商品のガタツキや損傷、事故につながる可能性がありますので
ご注意ください。なお、施工終了後は本書をご使用される方へ、必ずお渡しいただくようお願い
いたします。本書は、いつでも見られる場所に必ず保管していただくようお願いいたします。

本体構成

本製品はフレーム、スライド下地、スライドカバー、カバー、ゴム下地で構成されています。



カネソウ株式会社

303-1K

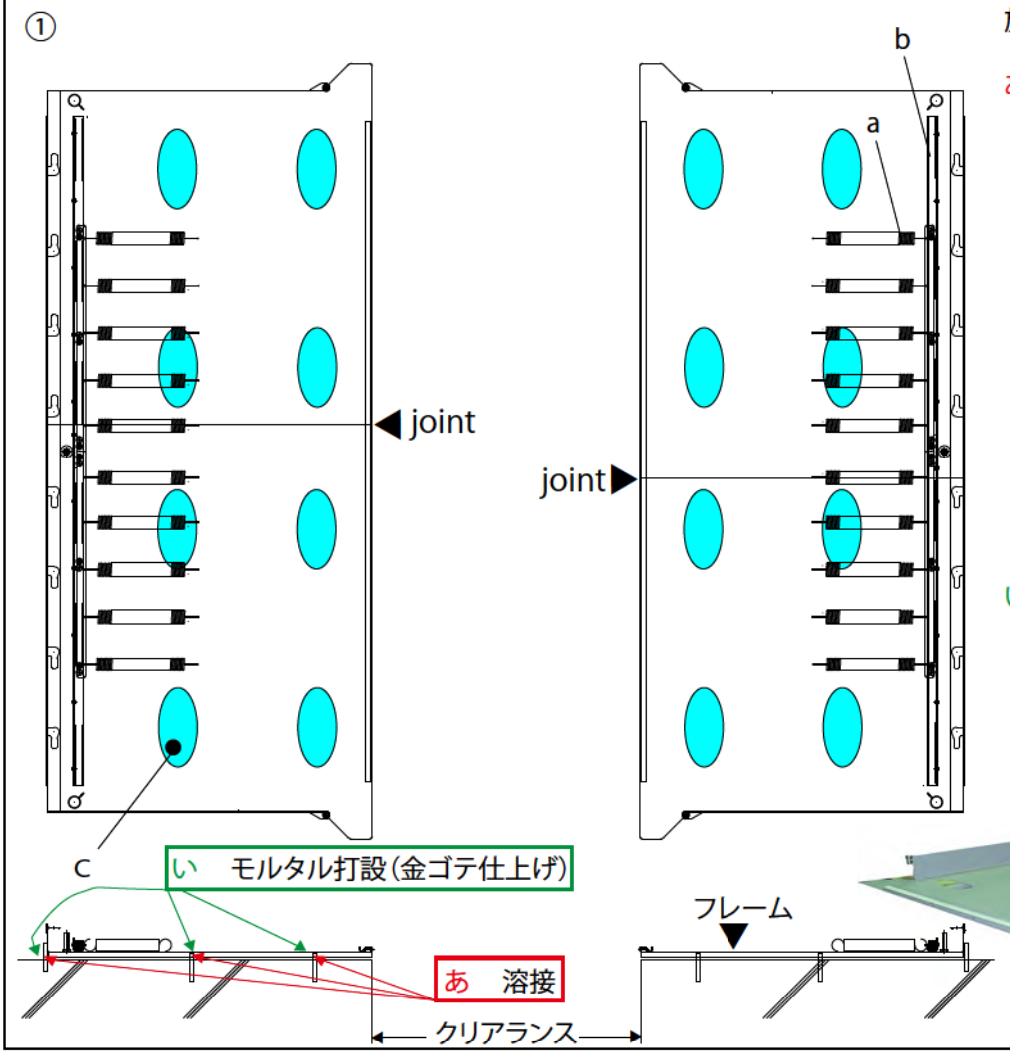
免震構造建築用EXジョイント施工手順

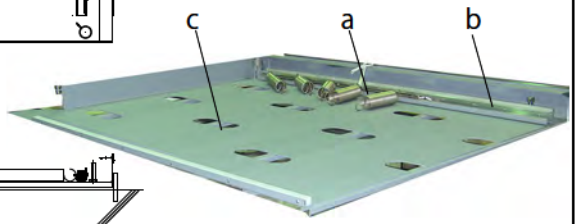
①

施工図に従いスラブを仕上げます。

あ　図面にて寸法確認を行い、フレームのレベルを調整後、差筋と被覆アーク溶接します。フレームが分割されている場合はjoint部の上面に3か所程度、点付溶接してレベルを合わせてください。溶接ビートによる段差が無いようにサンダーで仕上げてください。
※スプリングユニット(a)はフレームのレール(b)に取り付けた状態で施工してください。後で取り付け出来ません。
※フレーム受面は水平になるよう施工してください。

い　モルタルを打設します。
※溶接及びモルタル充填用穴(c)は打設したモルタル上面がフレームレベルと段差が発生しないように必ず、金ゴテ仕上げをしてください。





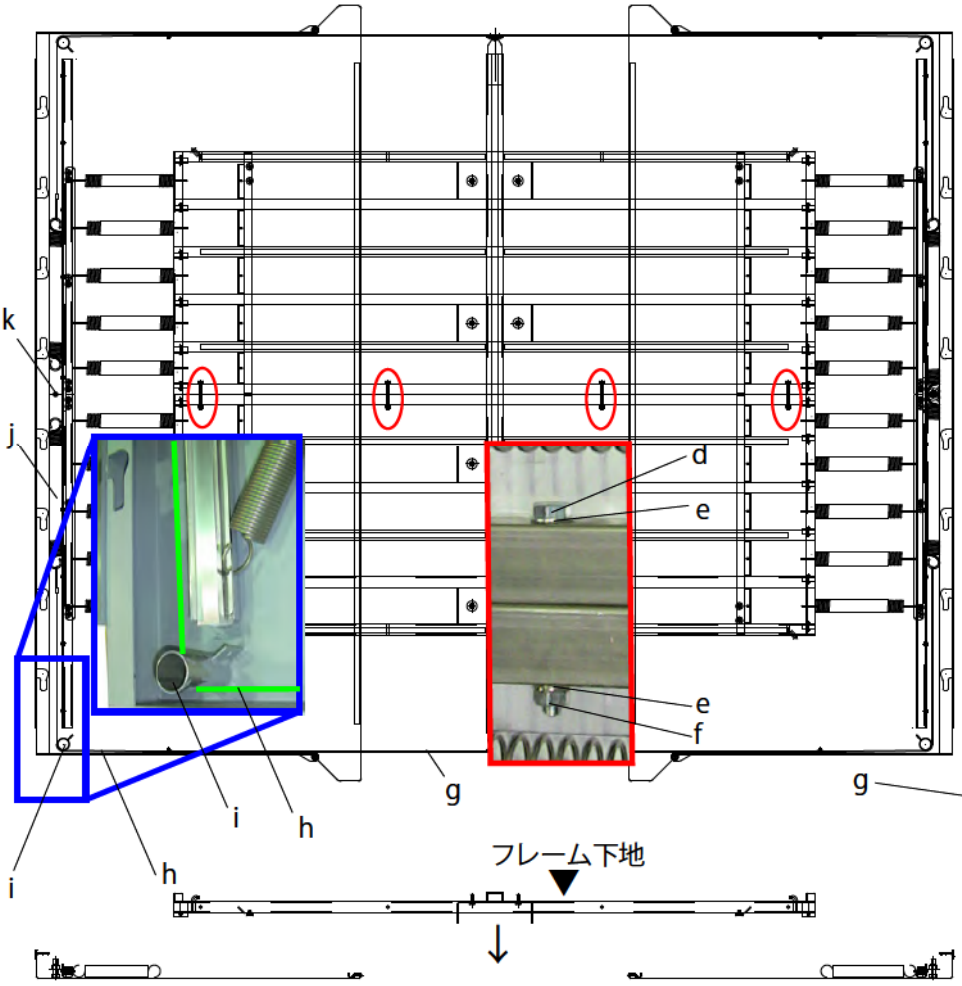
フレームイメージ写真

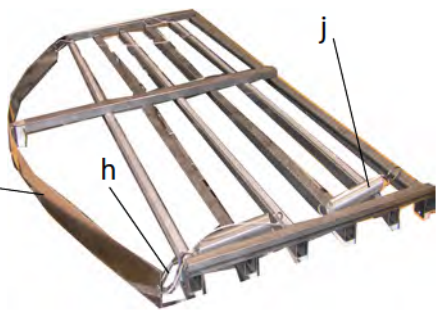
②

フレームの中央にフレーム下地をセットします。

※フレームが分割されている場合は図赤丸と写真のように、M10×100半ネジボルト(d)を角パイプの両側に平座金(e)を入れてM10Uナット(f)で固定して下さい。

図青部と写真の様にフレーム下地の両サイドのバネ鋼（g）から出ているワイヤー（h）をガイドパイプ(i)に通し先端のスプリング(j)をバネかけ(k)付近に持っていきます。
4隅についてこの作業を行います。

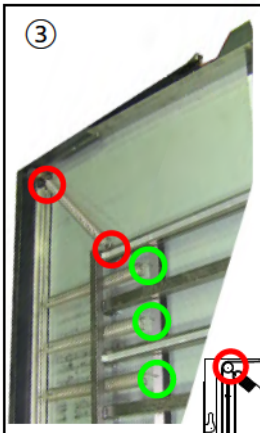


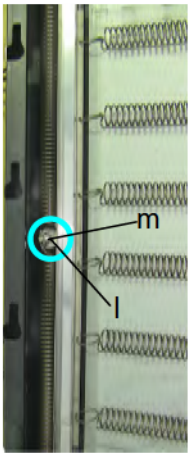


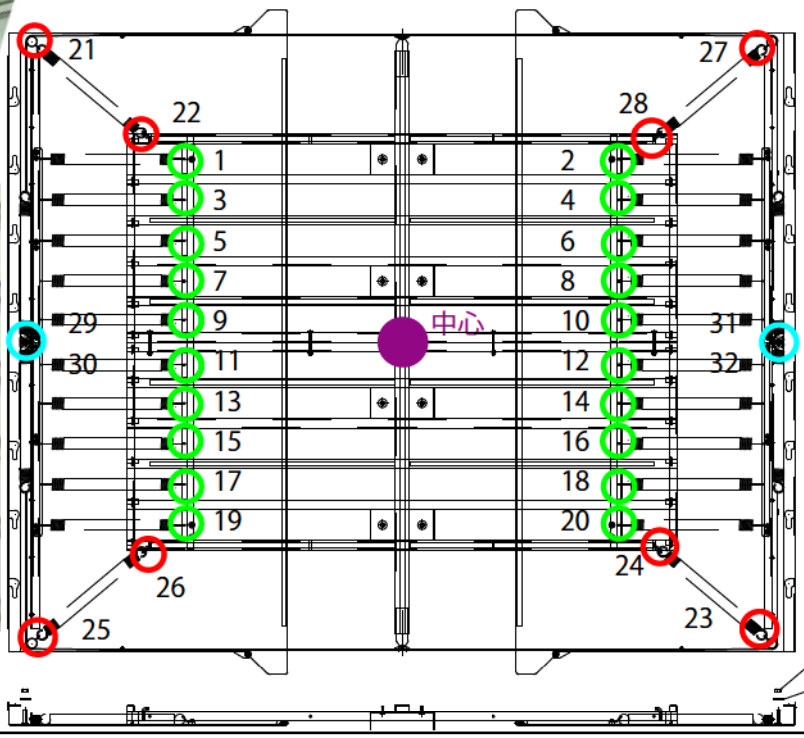
フレーム下地イメージ写真
（※梱包状態）

免震構造建築用EXジョイント施工手順

③





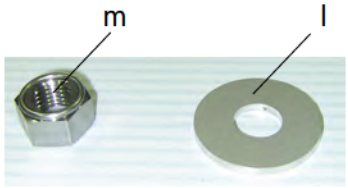


赤、緑、青丸部すべての部分にスプリングをひっかけます。

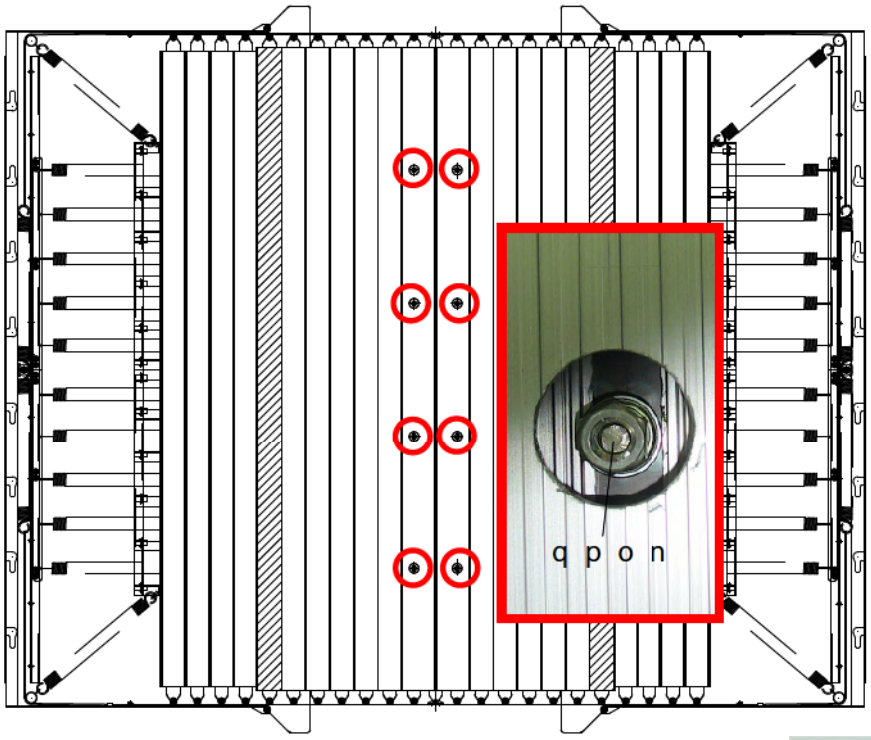
青丸部については１本のボルトに2本のスプリングをひっかけます。その後φ47㎜の座金(l)をはめてM16Uナット(m)を締めてください。

※図内の番号順にスプリングをひっかけます。クリアランスをまたいで張力が均等になるように取り付けてください。

すべてのスプリングをひっかけた後に再度スライド下地の中心がフレームの中心になっていることを確認してください(前後左右方向)。

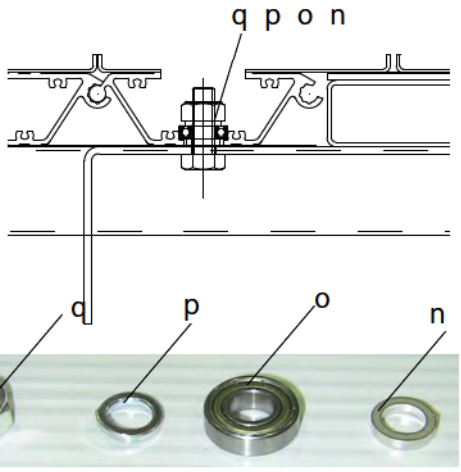


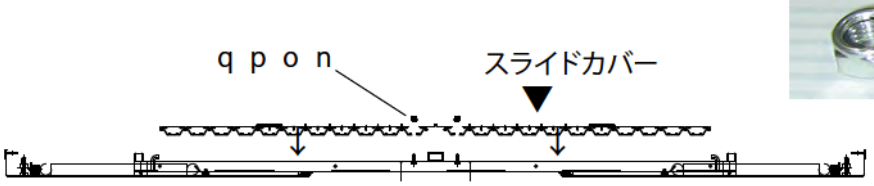
④



スライドカバーをセットします。

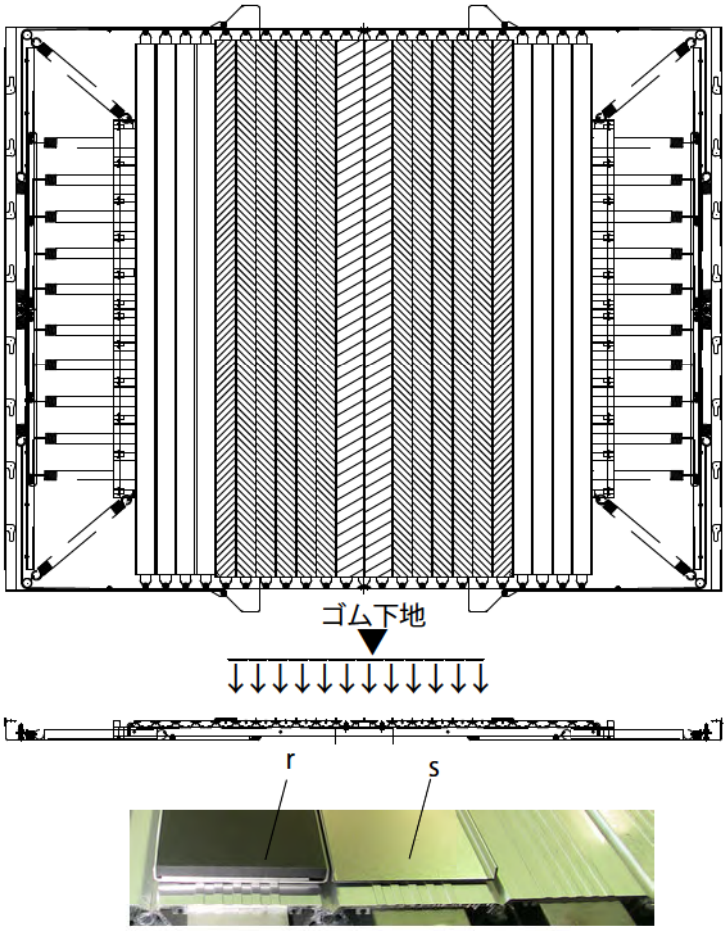
スライド下地から出ているボルトにスライドカバーの赤色部取付穴を合わせてはめ込みます。
φ15㎜スリーブ(n)、ベアリング(o)、M10スプリングワッシャ(p)、M10Uナット(q)の順でスライドカバーを固定します。
すべての取付穴に対してこの作業を行います。





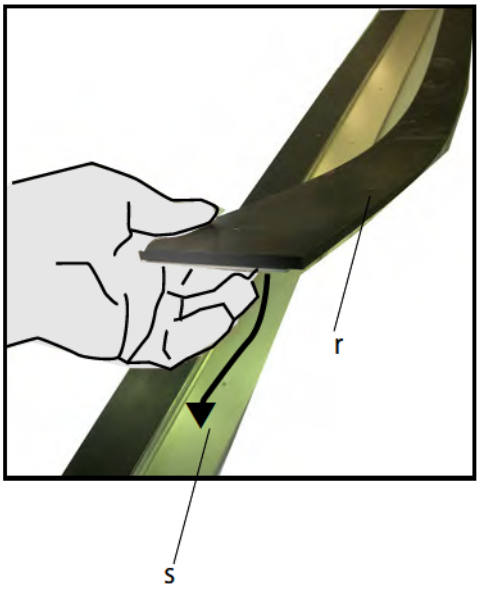
免震構造建築用EXジョイント施工手順

⑤

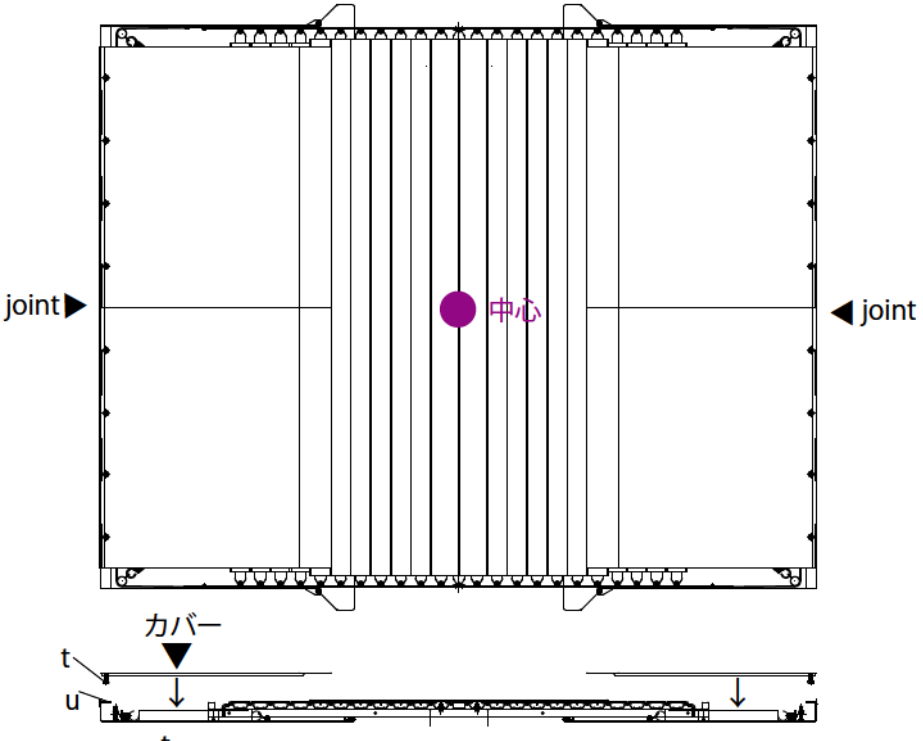


ゴム下地(r)を受金具(s)にはめ込みます。
※アルミ型材の上に受金具(s)がついた部分のみゴム下地(r)を付けます。
※ゴム下地(r)が分割されている場合は受金具(s)のジョイント部と重ならないようにはめ込んでください。

ゴム下地はめ込みイメージ

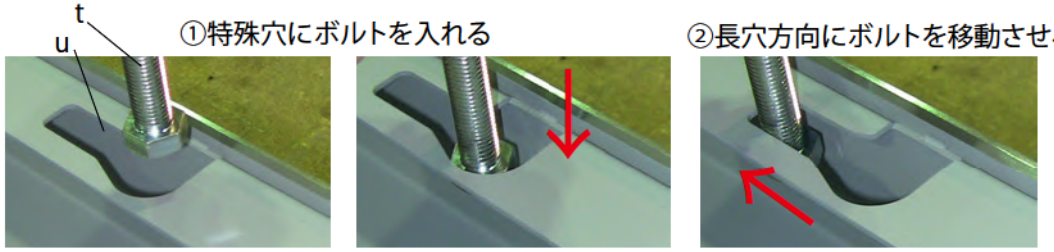


⑥



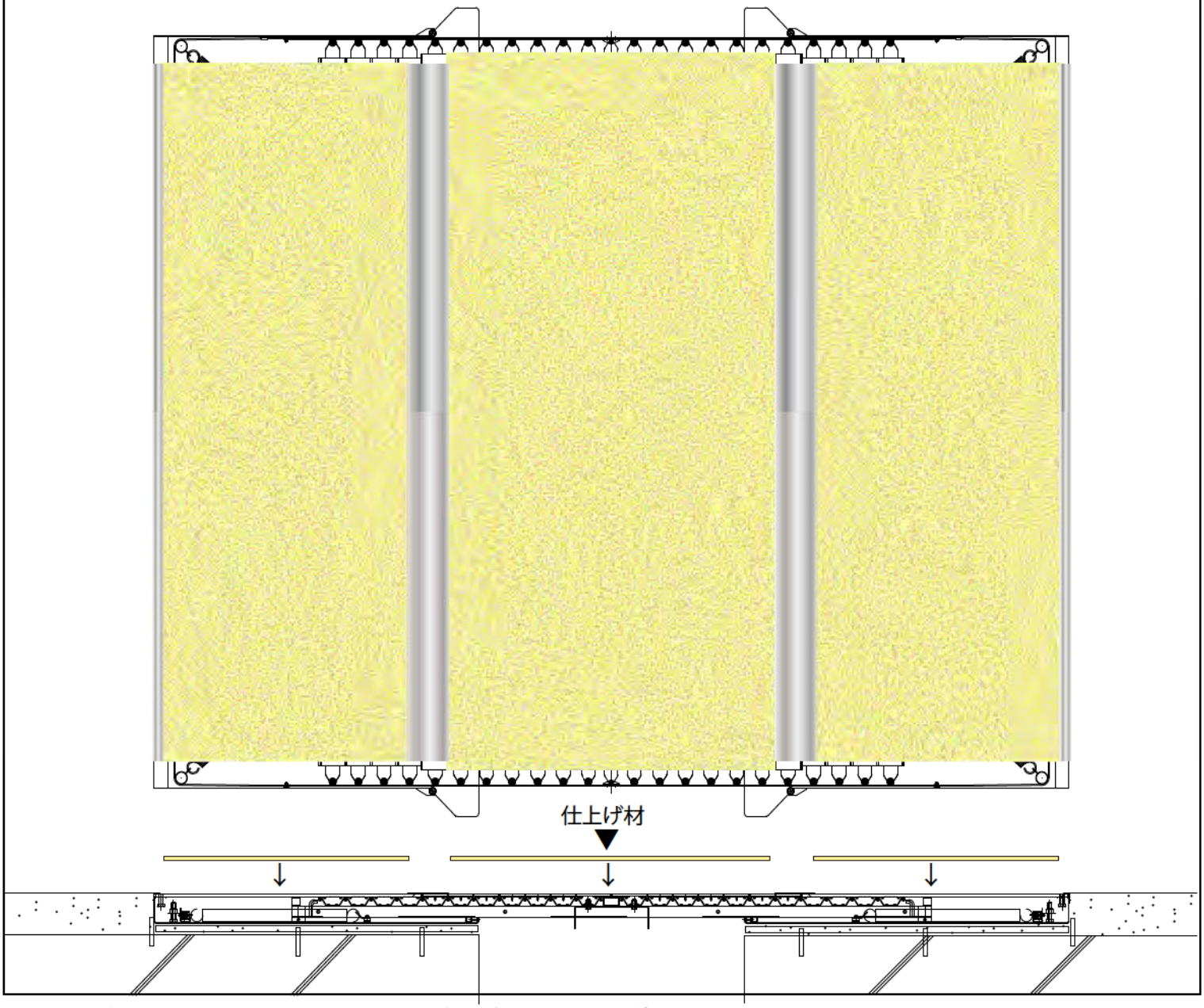
カバーをセットします。
カバー裏面のボルト部(t)をフレームの特殊穴(u)に写真の要領でセットします。
※カバーセット時にスライドカバーの中心がフレームの中心になっていることを確認してください（前後左右方向）。

joint部は2か所程度の点付溶接で固定してください。溶接ビートによる段差が無いようにサンダーで仕上げてください。



免震構造建築用EXジョイント施工手順

⑦ カバーの上に床仕上げ材を貼って完了。
※スライドカバーのすき間に床仕上げ材の接着剤が入らないようにして下さい。



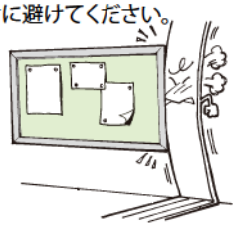
※本製品は通常時においてスライドカバー部の中心がフレームの中心にくるように設計されています。
施工時の各工程においてスライドカバー部の中心が全体の中心あることを特に注意してください。

EXジョイント取扱上の注意

EXジョイントは建物間の隙間に設置し、雨・風から建物を守る製品です。より長く、美しくお使いいただくためにも、以下にあげた取り扱い注意事項を必ず守ってください。

EXジョイントのカバー上を重量車輌が通過する場合は、それに耐えられる鋼板等を渡してください。

EXジョイントはフレキシビリティーを持たせた製品ですので、ビスやネジ等でカバーを固定するようなことは絶対に避けてください。

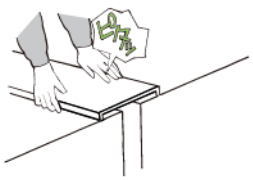


EXジョイントは外気の温度変化や沈下、地震等による建物の揺れに応じて自由自在に動いています。従ってカバー上面には絶対に物を置かないでください。

EXジョイント上で飛んだり跳ねたり、またカバーを外すような行為はしないでください。ケガをしたり、カバーが変形し機能が低下してしまう恐れがあります。

EXジョイントに直接水を掛けないでください。漏水現象を引き起こす可能性があります。

EXジョイントは建物の揺れによって動くため、ズレたり隙間ができることがあります。そのままの状態で放置しておきますと、つまずいたりしてケガの原因となりますので定期的にカバーの位置を元に戻してください。



⚠ 製品の取扱上の注意について

・設計条件を超える荷重がかかる場所では使用しないでください。
　本製品には設計荷重があります。設計条件を超える荷重がかかると、破損や変形を招き、事故を引き起こす恐れがあります。

・取付・取外しは専門業者に依頼してください。
　清掃や交換などのメンテナンスが必要な場合は、専門業者に依頼してください。取付方法を誤ると、破損や変形、ガタツキを招き、事故を引き起こす恐れがあります。取付・清掃・交換・点検などの際は必ず作業用手袋を着用してください。

・加工をしないでください。
　切断、穴あけ、切削、変形、塗装などの加工を施さないでください。製品の強度の低下や、錆の発生の原因となり、事故を引き起こす恐れがあります。

・破損、変形した製品は使用しないでください。
　何らかの原因で、破損や変形した製品は、強度が著しく低下しており、事故を引き起こす恐れがあります。適正な製品に交換してください。

・油などが付着した場合、すみやかに取り除いてください。
　油などの滑りやすいものが製品の表面に付着すると、歩行者の転倒などの事故を引き起こす恐れがあります。すみやかに清掃を行い、油などを取り除いてください。

・すき間に指を入れないでください。
　カバーとカバーのすき間や、カバーと受枠のすき間などに指を入れると、指詰めなどのケガをする恐れがあります。すき間に指を入れないでください。

・持ち運び及び輸送には、充分ご注意ください。
　重量の重い部材がございます。腰などを痛めたり、足の上に落とすとケガの恐れがあります。

・取扱いには軍手や革手袋をご使用してください。
　指のケガ及び骨折等の恐れがあります。取扱いの際は軍手や革手袋を必ずご使用してください。

・外部から強い衝撃を与えないでください。
　搬入時など本製品に衝撃や荷重をかけないでください。破損や変形する恐れがあります。

※この内容は平成２３年１１月現在のものです。外観・仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。